埼玉県熊谷市における地域総合連携計画策定調査

熊谷市地域公共交通会議　　（H22.7～H23.3）

概　要

熊谷市において、利便性と採算性のバランスが取れ、各公共交通機関が連携した交通網を実現するにあたり、交通政策の指針となる「地域公共交通総合連携計画」の策定は必要不可欠であることから、交通サービス水準、交通需要の現況整理や市民の公共交通に対する意向調査、早稲田大学との協働による電気バス実証運行等に取組む。

○地域公共交通の現況

市内には、新幹線や鉄道、路線バスやタクシーなど公共交通機関が比較的整備されており、国道17号、熊谷バイパスとも4車線化されるなど、道路インフラも高水準で整備されている。また、市の補助によって運行されている「ゆうゆうバス」については、路線バス網を補完する形で運行されている。

○地域公共交通の課題

・過度な自動車への依存による混雑・渋滞の発生、環境負荷の増大、 公共交通衰退等
・近年の高齢社会の進行に伴う移動制約者のモビリティ確保
・ゆうゆうバスについては、運行本数、地域間格差、採算性及び他の公共交通機関との連携不足等

○調査の主な内容

（1）熊谷市内の公共交通に関する現況整理
（2）市民等の意向把握アンケート（市民、事業所従業員、ゆうゆうバス利用者）
（3）早稲田大学の電気バス試験運行（熊谷駅周辺ルート、2週間程度）
（4）現地踏査の実施（バス停の設置の可能性、上屋、ベンチ等設置状況）
（5）公共交通を取り巻く課題の整理
（6）新ゆうゆうバス運行計画の策定